

平成 27 年度

事業報告書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業会計】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) ボランティアセンター運営事業	4
(3) 社協会員加入促進事業	7
(4) まごころ銀行運営事業	7

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8

(2) 地区社協育成事業

①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8
③地区社協基盤整備事業	9
④小地域福祉力向上事業	10

(3) 地域福祉活動啓発事業

①情報紙等広報啓発事業	10
②若草福祉まつり開催事業	11
③わかくさファミリーまつり開催事業	11
④福祉サポートフェスタ開催事業	11
⑤「耳の日」のつどい開催事業	12

[新規]	⑥若草映画鑑賞事業	12
--------	-----------	----

[新規]	⑦文化の森福祉まつり開催事業	12
--------	----------------	----

(4) 地域交流支援事業

①マイクロバス運行事業	13
②地域交流サロン運営事業	13
③道後温泉廃棄浴衣活用事業	15

[新規]	④であいと学びの親子体験会	15
--------	---------------	----

[新規]	⑤子育て親子・小・中学生交流授業開催事業	15
--------	----------------------	----

⑥福祉団体助成事業	16
-----------	----

(5) 見守り支援事業

①安心カードみまもり支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

②徘徊等高齢者支援ネットワーク事業・・・・・・・・・・・・・・・・16

4 相談支援事業

[新規] (1) 生活困窮者自立相談支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・17

(2) 障がい者総合相談窓口事業・・・・・・・・・・・・・・・・17

(3) 福祉サービス利用援助事業・・・・・・・・・・・・・・・・18

(4) 福祉資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・19

②臨時特例つなぎ資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・19

【公益事業会計】

1 松山市総合福祉センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・20

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・22

(3) 番町福祉センター管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・22

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・22

(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業・・・・・・・・・・23

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業・・・・・・・・・・・・・・・・24

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業・・・・・・・・・・24

③配食サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・24

④福祉機器貸出事業・・・・・・・・・・・・・・・・24

[新規] ⑤バリアフリーマップ改訂版作成事業・・・・・・・・・・25

⑥中高年結婚相談支援モデル事業・・・・・・・・・・25

(2) 介護予防促進事業

①離島介護サービス対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・26

②ふれあい・いきいきサロン運営事業・・・・・・・・・・26

③松山健康づくり体操教室事業（若草）・・・・・・・・・・29

④まつやまシニアカレッジ事業・・・・・・・・・・・・・・・・30

(3) 聴覚総合支援事業

①手話生活相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・30

②手話通訳者設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・31

③意思疎通支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・31

④意思疎通支援者養成事業・・・・・・・・・・・・・・・・32

⑤聴覚障害者等生活訓練事業・・・・・・・・・・・・・・・・32

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

- ①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- ②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・ 33
- ③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- ④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

(2) 社会福祉施設等支援事業

- ①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- ②ケアプラン評価等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- ③介護相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

4 権利擁護センター事業

- [新規] (1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・ 35
- (2) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- (3) 市民後見推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

- ①福祉大会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- ②福祉定期講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

【はじめに】

少子・高齢化の急速な進行や地域コミュニティにおける人間関係の希薄化等、地域住民を取り巻く環境が大きく変化する中、介護保険法の改正や生活困窮者自立支援法が施行されるなど、様々な法整備が進められる一方で、医療、福祉、介護、地域住民による支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」が重要な課題となっております

こうした中、松山市社会福祉協議会では「平成 27 年度事業計画」に基づき、地域福祉活動の要となる地区社協への活動支援や松山市より「生活困窮者自立相談支援事業」「権利擁護センター運営事業」を新たに受託するなど、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の強化に努めて参りました。

また、本会の特性である公平性・中立性を最大限に活かした要介護認定訪問調査事業をはじめとする各種事業の適正な実施と社協会員の拡充やイベントを通じた広報啓発活動の強化に努めるなど、行政や医療分野、民間企業等との連携・協働を図りながら社会福祉協議会への理解者の拡大と使命である地域福祉の推進に積極的に取り組んで参りました。

【社会福祉事業会計】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成に取り組むとともに、平成 27 年度においては、賛助会員をはじめとする企業と「災害時における企業ボランティア活動に関する協定」や「タイアップ企画に関する覚書」を締結するなど、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進に努めた。

ア. 理事会

開催日	出席者数	議案
平成 27 年 5 月 29 日	13 名	平成 26 年度事業報告について 平成 26 年度収支決算について 評議員の委嘱について 外
平成 28 年 3 月 28 日	14 名	平成 27 年度資金収支補正予算について 定款の一部変更について 平成 28 年度事業計画について 平成 28 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 処務規程の一部改正について 給与規程の一部改正について 評議員の委嘱について 外

イ. 評議員会

開催日	出席者数	議案
平成 27 年 5 月 29 日	43 名	平成 26 年度事業報告について 平成 26 年度収支決算について 理事の選任について 外
平成 28 年 3 月 28 日	40 名	平成 27 年度資金収支補正予算について 定款の一部変更について 平成 28 年度事業計画について 平成 28 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 役員を選任について 外

ウ. 実習生の受入

受入学校	受入人数	実習内容
6校	79名	相談援助実習や臨地実習等

エ. 賛助会員等との連携

- ・災害時における企業ボランティア活動に関する協定書 調印式

開催日	平成 28 年 3 月 6 日
会場	市総合福祉センター 1階 会議室
調印者	賛助会員等 10社
内容	小規模災害時等における、ボランティアセンターと連携した迅速なボランティア活動の実施

* ボランティアセンター運営事業（P-6）に再掲

- ・タイアップ企画に関する覚書 調印式

開催日	平成 28 年 3 月 6 日
会場	市総合福祉センター 1階 会議室
調印者	賛助会員 1社
内容	企業の社会貢献活動の一環として災害時用携帯トイレ等の売上の一部を社会福祉協議会へ寄付

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

事務事業の効率化及び情報の共有化を図るため、パソコン等の情報機器を整備するとともに、情報機器等の安全な運用管理に努めた。また、27年度は本所、北条支所のインターネットを専用回線から光回線に変更することで、作業効率の向上とコスト削減を図った。

設置台数	117台
------	------

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）及び母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）の未償還の貸付金回収に努めるとともに、住民票請求を実施し、死亡や行方不明者の確認を行った。

ア. 償還状況

資金名称	償還件数	償還金額
低所得者小口資金	0件	0円
母子家庭等小口資金	12件	29,000円
合計	12件	29,000円

イ. 住民票請求による調査

- ・調査対象貸付数 --- 49件

借受人（49名）			保証人（125名）		
所在確認者	死亡	行方不明	所在確認者	死亡	行方不明
40名	2名	7名	88名	10名	27名

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、協力会員の研修、地区福祉だよりの発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
309 名	1,919 名	2,228 名

・活動状況

延派遣回数	延派遣時間数	延預託点数	サービス内容
4,383 回	6,295.5 時間	12,591 点	サロン活動、地区社協事業支援等、話し相手、相談、定期訪問等

・福祉学習事業

助成地区	助成額	開催回数	備考
38 地区社協	3,560,000 円	170 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 地区 80,000 円以内 ・ 新規事業 1 地区 100,000 円以内

イ. 諸会議の開催

会議名	内容等
地区社協会長・事務局長連絡会	<p>開催日 平成 27 年 4 月 17 日</p> <p>会場 市総合福祉センター 5 階 中会議室</p> <p>出席者数 78 名（地区社協会長・事務局長 外）</p> <p>報告事項 (1) 地区社会福祉協議会連絡会活動状況について (2) 地域福祉サービス事業活動状況について (3) ふれあい・いきいきサロンの活動状況について</p> <p>説明事項 (1) 平成 27 年度地区社協関連事業実施計画について (2) 提出書類について</p> <p style="margin-left: 20px;">① 平成 27 年度地区社協役職員名簿 ② 平成 27 年度口座振替依頼書 ③ 特別会計（地域福祉サービス事業用） ④ 一般会計 ⑤ 地区社協活動推進事業</p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 地域福祉推進事業 ・ 福祉学習事業助成 ・ 活動計画策定助成 (2) 地区社協チャレンジ事業</p> <p>(3) 地区社協地域福祉活動計画策定進捗状況について (4) その他</p> <p>講演 演題 「期待される地域の福祉力」 講師 恒吉 和徳氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授）</p>

ウ. 地区別経理調査

実施地区	市内全地区社協（40 地区）
調査期間	平成 27 年 4 月 10 日 ～ 5 月 22 日
内 容	各地区を訪問し、会長、関係役員等の立ち会いのもと、一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

・地区社協だよりの発行

実施地区	発行回数	内 容
36 地区	45 回	地区内各世帯への配布による、地区社協活動等の周知・啓発（年 1 ～ 4 回発行）

エ. 地域福祉リーダー研修会の開催

研修名	内 容 等
傾聴スキル アップ研修会	開催回数 3回（平成 28 年 2 月 13 日 ～ 3 月 12 日） 会 場 市総合福祉センター 1 階 大会議室 講 師 一色 麻生氏（Fushime 塾代表 わくわくクリエイター） 米子 香苗氏（(株)Para ti ときめき支援室長） 修了者数 27 名 内 容 在宅訪問等で傾聴活動を行うための技術の提供及び地域における ケアキーパーソンの発掘・養成
リーダースキル アップ講座	開 催 日 平成 28 年 3 月 9 日 会 場 市総合福祉センター 1 階 大会議室 内 容 ①講義「地域の持つ力を高めるために」 講師 恒吉 和徳氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授） ②ワークショップ「発見！地域の魅力と課題」 講師 高杉 公人氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部准教授） 参加者数 93 名

(2) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働に努め、ボランティア活動の振興・拡大を図った。

ア. 運営

・運営委員会の開催

開 催 日	出席者数	協 議 事 項
平成 27 年 8 月 17 日	8 名	・平成 27 年度[4-7 月]事業報告について ・平成 27 年度[8-3 月]事業計画について
平成 28 年 3 月 8 日	6 名	・平成 27 年度一事業報告について ・平成 28 年度事業計画（案）について 外

・松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等

ボランティア活動の推進に向け、ボランティアグループ相互の連携と協働及び情報交換等を図る松山市ボランティア連絡協議会への運営協力や事業助成を行った。

イ. ボランティアコーディネート

ボランティア活動に関する相談・連絡調整・登録を行い、ボランティア活動の推進を図った。

・登録数及び相談件数

（平成 28 年 3 月 31 日現在）

団 体	487 団体・30,657 名（新規：22 団体・653 名）
個 人	2,247 名（新規：110 名）
電話・来所相談	延 2,987 件

・福祉体験学習事業

市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に、ボランティア活動に関する学習の機会を提供することによって、活動の推進及び福祉観の醸成を図った。

項目	学校数等	延件数	延参加者数	内容
小学校	44校	79件	7,366名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学習等
中学校	9校	12件	1,461名	
その他	22団体	36件	1,431名	
合計	53校・22団体	127件	10,258名	

・各関係機関のボランティア関係事業協力等

関係機関・団体が実施する各種イベントにボランティア及び職員を派遣することにより、円滑な事業運営に協力を行った。

主な協力事業等

イベント名	主催団体	活動者数
第30回トライアスロン中島大会	松山市・トライアスロン中島大会 実行委員会	99名
平成27年度 松山市障害者ふれあいスポーツ大会	松山市障害者団体連絡協議会	73名
松山市障害者団体連絡協議会 「じっとしと連」	松山市障害者団体連絡協議会	13名
第17回ふれあいの祭典	松山市障害者団体連絡協議会	21名
障がい者へのおもてなし向上講習会	日本旅館協会愛媛県支部	45名
その他	ヤングボランティアセンター運営委員会 外5団体	22名
合計	延8団体・12事業	278名

ウ. 情報収集・提供

関係機関・団体等からの各種ボランティア情報の収集に努めるとともに、情報紙や携帯電話等を活用しタイムリーな情報提供を行った。

項目	内容等	
「おせたい通信」の発行	発行回数	年12回
	発行部数	4,000部
	配布先	ボランティアグループ、個人ボランティア、福祉関係団体、市関係機関、民生児童委員協議会、各大学、企業等850ヶ所
メールマガジン	登録者数	1,178名（新規：38名）
携帯電話ボランティア情報システムによる情報提供	登録者数	1,097名（新規：45名）
	送信回数	22回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	1,198施設
ホームページ	アクセス数	9,743件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	46件（相談件数：40件）

エ. ボランティアの学習支援

講座等 / 開催日 / 会場	延参加者数	内 容
傾聴ボランティア養成講座 4回 (平成27年12月12日～ 平成28年1月16日) 市ハーモニープラザ	101名	目的 傾聴（相手の話に耳を傾け、話を聴く） の意義や技術の習得等 内容 人の気持ちに寄り添う、話を聴くこころ を聴く、援助的なコミュニケーション等 講師 福本 由美氏（キャリア・コンサルティング技能士）
災害ボランティア養成講座 3回 (平成28年1月16日～30日) 市総合福祉センター 協力：松山市ボランティア連絡協議会	104名	目的 災害ボランティアの知識と技術の習得 及びリーダー養成等 内容 災害ボランティアと災害ボランティア センターについて、災害避難所運営につ いて、災害被災者について等 講師 高杉 公人氏（聖カタリナ大学准教授） 講師 加地 弘明氏（愛媛県赤十字血液センター）
若年層（大学生等）ボランティア の活性化 【大学生ボランティアリーダー 育成研修会】 平成28年2月19日 坊ちゃん劇場	29名	目的 観劇やワークショップなどを通じて、 「伝える力」・「聴く力」・「自己表現 力」等を取得し、リーダーシップを發揮 してボランティア活動に取り組む大学 生の育成等 内容 ①観劇「お遍路さんどうぞ」 ②ワークショップ「コミュニケーション 能力の向上」 ・表現の為の手法 ・信頼を得る聞き方 ・分かりやすい話し方 など
ボラカフェ ～はじめてのボランティア～ 5回（平成27年9月～ 平成28年2月） 市総合福祉センター 協力：松山市ボランティア連絡協議会	37名	目的 少人数で語り合い、情報交換する場の提 供等 内容 ボランティア活動や点字、手話等 5テーマ 講師 松山市ボランティア連絡協議会等
4講座	271名	

オ. 小規模災害時における活動体制の整備

地域住民の安全・安心を確保するため、市内で発生する床上床下浸水等の小規模災害に迅速に対
応できるボランティアの育成・確保に努めるとともに、平成27年度においては聖カタリナ大学（平
成26年度締結）について賛助会員等民間企業10社との間で災害ボランティア協定を締結する等、
活動体制の整備に努めた。

- ・災害ボランティア登録 --- 54名（新規：8名）
- ・災害時における企業ボランティア活動に関する協定書 調印式

開催日	平成28年3月6日
会場	市総合福祉センター 1階 会議室
調印者	賛助会員等 10社
内 容	小規模災害時等における、ボランティアセンターと連携した迅速なボラ ンティア活動を実施

(3) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため、会員の加入促進に努めるとともに、希望する会員（企業等）に対しては、ホームページや掲示板等に名称を掲載し、紹介を行った。また、職員の職階別による目標額を設定し取り組んだことで、前年度と比較し約 95 万円の増額となった。

ア. 加入状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

会員種別	会員数	口数	金額
個人会員（個人）	2,265 名	3,000 口	3,000,000 円
特別会員（団体）	237 団体	487 口	2,288,954 円
賛助会員（企業）	131 社	144 口	1,432,676 円
合計	—	—	6,721,630 円

イ. 紹介状況

市総合福祉センター	・社協会員掲示板で名称の掲載 ・事業紹介パンフレットの設置	147 団体・113 社
ホームページ	・社協会員コーナーで名称の掲載（リンク設定） ・トップページでバナー紹介（企業名）	99 名・109 団体 118 社

(4) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄付を受け入れするとともに、物品については寄付者の意志に基づき、社会福祉施設等へ払い出しを行った。

ア. 受入状況等

種別	受入	件数	受入・払出先
金銭	4,077,941 円	59 件	市社協
物品	みかん	2 件	高齢者福祉施設 19 ヶ所、児童福祉施設 4 ヶ所 障がい者福祉施設 8 ヶ所
	りんご	1 件	児童福祉施設 4 ヶ所
	車椅子	1 件	市社協

イ. 交通災害遺児見舞金

各地区で民生委員・児童委員が 18 歳以下の交通・災害遺児の実態把握を行い、寄付者の意思に基づき見舞金を配布した。

項目	内容等
申請者数	33 名
見舞金総額	495,000 円（15,000 円 / 1 名）

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった 65 歳以上の在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を配布することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者への相談・支援や実態把握を行った。

項 目	内 容 等
申 請 者 数	211 名
見舞金総額	633,000 円 (3,000 円 / 1 名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を配布することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

内 容	件 数	支 給 額
住宅火災等	15 件	300,000 円
死亡弔慰金	4 件	80,000 円
合 計	19 件	380,000 円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

地域福祉の推進を図るため、各地区社協の事業計画に基づき、共同募金配分金を助成した。

助成地区	助 成 額
市内全地区社協 (40 地区)	35,076,236 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進することにより、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化を図った。

ア. 会議及び研修会等の開催

会議名	ブロック	回	内 容 等
ブロック会	第 1	第 1 回	開 催 日 平成 27 年 11 月 18 日 会 場 伊台公民館 参加者数 6 名 協議事項 地区社協の広報活動について
		第 1 回	開 催 日 平成 27 年 12 月 3 日 会 場 市総合福祉センター 参加者数 6 名 協議事項 地区社協の広報活動について

ブロック会議	第3A	第1回	開催日 平成27年11月24日 会場 番町福祉センター 参加者数 6名 協議事項 地区社協の広報活動について
	第3B	第1回	開催日 平成28年1月21日 会場 道後支所 参加者数 6名 協議事項 地区社協の広報活動について
	第4	第1回	開催日 平成28年1月29日 会場 市総合福祉センター 参加者数 8名 協議事項 地区社協の広報活動について
	第5	第1回	開催日 平成28年2月1日 会場 余土支所 参加者数 8名 協議事項 地区社協の広報活動について
	第6	第1回	開催日 平成28年1月27日 会場 市総合福祉センター 参加者数 8名 協議事項 地区社協の広報活動について
	第7	第1回	開催日 平成27年11月21日 会場 市総合福祉センター 参加者数 10名 協議事項 地区社協の広報活動について
	第8	第1回	開催日 平成27年11月27日 会場 北条社会福祉センター 参加者数 7名 協議事項 地区社協の広報活動について
全体会	開催日 平成27年11月14日 会場 市総合福祉センター 参加者数 130名 内 容 講演会 演題 「地域で支える認知症」 講師 富岡 廣志氏 (認知症を抱える河内長野家族の会副代表)		
情報交換会	開催日 平成28年1月27日 会場 いよてつ会館 参加者数 88名(地区社協会長・事務局長等) 内 容 各地区社協活動の情報交換		

③地区社協基盤整備事業

地区社協を対象に、拠点開設時の備品整備のための助成を行い、地区社協活動を支援した。

地区社協	助成内容
三津浜地区社会福祉協議会	拠点整備事業助成 300,000円

④小地域福祉力向上事業

【県社協補助事業】

防災頭巾づくりのワークショップや講演会を通して、防災・減災についての知識と備えを広めるとともに、幅広い世代間の地域交流を目指して開催した。

実施地区	味生地区	
開催日	平成 27 年 8 月 24 日	平成 28 年 1 月 17 日
会 場	味生第二小学校	味生公民館
参加者数	味生地区高齢者 24 名 (地区社協、地区民協、サロン、NPO) 児童 21 名 (小学校 3～6 年生)	連携団体に所属する地元住民等 85 名 (地区社協、地区民協、町内会連合会、 自主防災連合会、公民館関係者)
内 容	防災頭巾づくり	講演会 演題 「つながろう、高めよう地域の防災・福祉力」 講師 桑原 英文氏 (コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL DO 代表) 田中 勢子氏 (わしん倶楽部代表)

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

①情報紙等広報啓発事業

リーフレット改訂版の作成や生活情報誌への広告、各種イベントへの参加のほか、平成 27 年度においては、フェイスブックを活用した広報活動等を通して市社協及び事業の紹介を行った。

広報活動	内 容 等
社協事業紹介リーフレットの作成	2,000 部
広報紙でのイベント・事業等紹介	年 2 回 (約 243,000 部 / 1 回 : 市広報紙に折込)
ラジオでのイベント・事業等紹介	年 4 回 (南海放送「みんなの松山」)
車両用マグネット式広報版の活用	協力企業等 (会員) 新規 20 社
横断幕の掲揚	市総合福祉センター南側壁面への掲揚 市社協・共同募金運動・日本赤十字社啓発用
オリジナルクッキーの作成	3,000 個 (共同募金運動・若草福祉まつり等で配布)
イルミネーションの設置	市総合福祉センターロータリーに設置 協力 企業 2 社及びボランティア
イベントへの参加協力	(1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 えひめ (昼夜たすきをつないで歩くがんと向き合う活動) (10 月 17 日・18 日) 職員参加 74 名 (2) えひめ・まつやま産業まつり (愛媛すごいもの博 2015) (11 月 21 日・22 日) 職員参加 30 名
ホームページの運営 (Facebook 10 月からスタート)	(1) 松山市社会福祉協議会 (123,610 件) (2) 松山市ボランティアセンター (8,585 件) (3) いきがい交流センターしみず (1,139 件) (4) まつやまバリアフリーマップ (9,743 件)
松山市政記者クラブへの報道資料	32 事業 46 件 (内 19 件取材)

②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2015」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

*総合福祉センター管理・運営事業（P-21）に再掲

③わかくさファミリーまつり開催事業

子どもの日にちなんだイベントを協賛企業やボランティアと連携して開催し、子どもたちが楽しめる映画や昔懐かしの駄菓子屋コーナー等を通じ、世代間の交流や子どもたちの健やかな育成を図るとともに、市社協事業の啓発や理解者の拡大に努めた。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 27 年 5 月 2 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 1,200 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○映画コーナー（LEGO(R)ムービー、怪盗グルーのミニオン危機一発） ○あそびコーナー（泥団子製作、プラ版製作、バルーンアート スーパーボールすくい等） ○販売コーナー（駄菓子屋、花の苗販売、中島産直販売、食べ物販売等） ○紙ひこうき飛ばしに挑戦しよう 等

④福祉サポートフェスタ開催事業

子どもから高齢者までの世代間交流やふれあいを通じて学習の場や福祉の情報提供を行い、福祉力の向上に努めるとともに、企業の参加・協力（協賛企業 13 社：社協会員）を促すことで連携・協働を深め、福祉活動への理解促進と企業の社会貢献活動の拡大を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 27 年 7 月 25 日・26 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 1,200 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○協賛企業啓発コーナー（13 社） ○みんなでニンニンジャー （手裏剣戦隊ニンニンジャーエンディング曲をいっしょに踊ろう！） ○鑑賞展示コーナー （フラワーアレンジメント教室、宝石すくい、ピカピカドロだんごづくり、プラ板キーホルダーづくり、スーパーボール等） ○相談コーナー（介護相談、行政書士相談、不動産相談、空家管理相談） ○撮影コーナー （キャラクターと一緒に写真を撮ろう！、今話題の寝相アートでパチリ！） ○お食事コーナー ○スタンプラリー 等

⑤「耳の日」のつどい開催事業

「耳の日」にちなんだイベントを協賛企業（社協会員：4社）や関係団体（社協会員等：19団体）と連携して開催し、「聞こえない・聞こえにくい」ことについての理解者や活動者の増大を図り、障がい者福祉の増進を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 28 年 3 月 6 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 800 名（聴覚障がいに関わる福祉関係者及び一般市民）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○耳に関する講演会「難聴や耳の病気を知ろう！」 講師 篠森 裕介氏（松山赤十字病院耳鼻咽喉科） ○ミニ聴導犬講座・抱っこスピーカー体験 ○手話パフォーマンス おもてなし発表会 ○相談コーナー（補聴器、携帯電話、介護、薬、教育、旅行等） ○福祉機器展示（集団補聴システム、音声認識装置、モバイル消防等） ○障がい当事者・支援団体紹介（市聴覚障害者協会等、各サークル等） ○ミニホワイトボードづくり ○ミニ講座（手話） 等

⑥若草映画鑑賞事業

【新規事業】

敬老週間に合わせた映画鑑賞を通じて、高齢者をはじめ地域の方々が高齢の生きがいや地域づくりを考える「きっかけ」とするとともに、心身のリフレッシュを図ることを目的として開催した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 27 年 9 月 21 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
参加者数	約 350 名
内 容	映画 「人生、いろどり」（上映時間 112 分） 上映回数 2 回（午前 1 回・午後 1 回）

⑦文化の森福祉まつり開催事業

【新規事業】

北条社会福祉センターを拠点として活動する各種団体が協働し、各種イベントやコーナーでのふれあいを通じ、社会福祉協議会や福祉活動への理解促進、ボランティア活動の拡充を図るために開催した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 27 年 12 月 5 日
会 場	市北条社会福祉センター
参加者数	約 1,100 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ステージ発表（県警音楽隊愛 ai マドンナ、北条幼稚園児の発表外） ○バザーコーナー ○娯楽コーナー ○作品展示コーナー ○お楽しみ抽選会 ○イルミネーションセレモニー 等

(4) 地域交流支援事業

【自主事業】

①マイクロバス運行事業

市社協が所有するマイクロバスを無償で貸出し、市社協や地区社協事業に活用することにより、地域福祉活動の拡大を図った。

利用団体	件数	利用者数
サロン（地域交流サロン含む）	148件	2,698名
地区社協・民協	67件	1,336名
その他	5件	97名
合計	220件	4,131名

②地域交流サロン運営事業

子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう地域福祉の増進を図った。

ア. 助成額

助成サロン数	助成額	備考
36サロン	1,566,953円	1サロン：1開催3,000円（15回を限度） 新規開設時20,000円

イ. 実施サロン一覧

No	サロン名	地区	実施回数	延利用者数	平均利用者数
1	東築山町サロン	八坂	10回	331名	33.1名
2	子育てサロンどいだ	雄郡	12回	546名	45.5名
3	子育てサロンゆうぐん	雄郡	13回	386名	29.7名
4	サロン遊学塾	雄郡	13回	307名	23.6名
5	やよいサロン	雄郡	8回	154名	19.3名
6	どんぐり倶楽部・清水	清水	19回	422名	22.2名
7	余土子育てサロン	余土	12回	434名	36.2名
8	垣生交流サロン	垣生	15回	385名	25.7名
9	佐古いきいきサロン	生石	22回	255名	11.6名
10	サロン桃山	生石	15回	292名	19.5名
11	すこやかサロン	生石	30回	378名	12.6名
12	T.Oスマイルサロン	生石	19回	258名	13.6名
13	津田イキイキサロン	味生	15回	226名	15.1名
14	サロンなでしこ	味生	15回	254名	16.9名

15	丸ちゃん班	味生	15回	240名	16.0名
16	クラブそよ風	潮見	26回	221名	8.5名
17	ひまわり	潮見	15回	180名	12.0名
18	七曲りいろいろの会	久枝	15回	169名	11.3名
19	なかよしクラブ	堀江	21回	319名	15.2名
20	伊台の実家	伊台	24回	368名	15.3名
21	どんぐりの会	小野	15回	280名	18.7名
22	ペチャくちゃサロン In 白山会	石井東	11回	217名	19.7名
23	交流サロンマンボ	石井東	15回	608名	40.5名
24	星ぐるま	石井東	13回	599名	46.1名
25	ママサークル Angelic☆Kid' s	石井東	13回	122名	9.4名
26	石井西健康マージャン脳トレ教室	石井西	17回	376名	22.1名
27	ひまわりの会	久谷	15回	217名	14.5名
28	上野団地コスモスの会	久谷	10回	178名	17.8名
29	くにつチャイルドクラブ	正岡	12回	213名	17.8名
30	光洋台“稗の会”	粟井	13回	200名	15.4名
31	ドリーム・キッズ	粟井	15回	237名	15.8名
32	A Bクラブ	粟井	25回	315名	12.6名
33	中島みらいクラブ	中島	15回	682名	45.5名
34	天山交差点	—	12回	191名	15.9名
35	手話で話そう会	—	24回	421名	17.5名
36	かまくりカフェ	—	37回	210名	5.7名
合 計			596回	11,191名	18.8名

③道後温泉廃棄浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体（社協会員等：3団体）と連携し、道後温泉本館の廃棄浴衣を活用した製品の開発・製作（平成27年度：湯玉トートバック、紙の湯カードケース）を行い、高齢者・障がい者の就労支援や社会参加・生きがいを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPRを行った。

項目	内容等
ブランド名	松山トリコ
製品	<ul style="list-style-type: none"> ○おじゃみクッション 製作：110個 ○湯玉トートバック 製作：282個 ○紙の湯カードケースシングル 製作：500個 ○紙の湯カードケースダブル 製作：1,000個

④であいと学びの親子体験会

【新規事業】

福祉施設を会場にして就学前の親子の交流を実施することで、親同士の情報交換の機会を提供するとともに、歌・手遊び・玉入れ・魚釣りゲームやお話交流などを施設利用者と親子で行うことにより世代間交流や福祉学習の推進を図った。

地区	実施日 / 会場	参加者数	内容
潮見	平成28年2月5日 小規模多機能型 居宅介護いなほ	ひまわり 14名 (子育てサロン：親子6組) 施設利用者 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・歌と手遊び ・お手玉遊び ・カード入れゲーム ・玉入れ ・お話交流 など
余土	平成28年2月13日 特別養護老人ホーム であい	余土子育てサロン 30名(親子15組) 施設利用者 15名	<ul style="list-style-type: none"> ・玉入れ ・ボーリング ・魚釣りゲーム ・輪投げ ・マト当て ・お話交流 など

⑤子育て親子・小・中学生交流授業開催事業

【新規事業】

少子化により乳幼児との関わりを持ったことのない思春期を迎えた中学生などを対象に、実際に子どもとふれあうことで、親になること子育ての大変さなどを体験する機会を提供するとともに、子育て中の親子に対しても本事業が地域を知るきっかけとなり、地域住民との交流が促されることで、地域のコミュニケーション力の醸成を図った。

実施校	協力地区	開催日	対象学年	参加者数
勝山中学校	清水地区社協・民協 及び 味酒地区社協・民協	平成27年 10月8日	3年生	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 225名 親子(21組) 42名 地区 15名 NPO 9名
			2年生	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 250名 親子(22組) 45名 地区 15名 NPO 8名
			1年生	<ul style="list-style-type: none"> 生徒 235名 親子(15組) 21名 地区 4名 NPO 8名

小野中学校	小野地区社協・民協	平成 27 年 11 月 6 日	3 年生	生徒 親子(37 組) 地区 NPO	145 名 78 名 11 名 15 名
-------	-----------	---------------------	------	-----------------------------	-------------------------------

⑥福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動を支援した。

助成団体数	助 成 額
14 団体（松山市障害者団体連絡協議会等）	710,000 円

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の構築を図った。（平成 28 年 3 月 31 日現在）

登録者数	活用事例
9,952 名（新規：877 名）	31 件（累計：105 件） [対象者傷病程度] 軽症 18 件、中症 9 件、重症 2 件、不搬送 2 件、死亡 0 件

②徘徊等高齢者支援ネットワーク事業

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明者となった高齢者を早期発見・保護するためのネットワークの構築を図った。また、情報の集約、手続きの一本化、対象者及び協力者の拡大を図るため、平成 27 年 12 月 1 日付けで松山市事業と統合し、事業名を認知症高齢者 SOS ネットワーク事業（通称「おまもりネット」）に改称した。（平成 28 年 3 月 31 日現在）

捜査協力者数	利用高齢者数	活用件数
1,367 名（新規：327 名）	211 名（新規：151 名）	2 件（累計：5 件）

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業：新規事業】

平成 27 年 4 月 1 日より施行された「生活困窮者自立支援法」に基づく福祉事務所設置自治体の必須事業である「生活困窮者自立相談支援事業」を松山市より受託し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ生活全般にわたる包括的な支援を行った。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	来所相談	電話相談	訪問・同行	その他	合計
相談件数 (延件数)	403 件 (920)	235 件 (1,441)	5 件 (88)	1 件 (274)	644 件 (2,723)

*その他は所内会議、他機関との会議、支援調整会議を含む。

イ. 支援計画

内容		件数	備考
計画作成検討		69 件	支援調整会議 69 回
計 画 作 成 (支 援 決 定)	就労支援	34 件	内就労者数 18 件
	準公的サービス利用	12 件	
	生活福祉資金利用	5 件	
	その他	14 件	住居確保給付金支給等
	計	65 件	

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉総合窓口職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談並びに発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう問題解決に向けた支援・助言を行った。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援会議	関係 機関	その他	合計
延件数	748 件	815 件	345 件	3,795 件	823 件	45 件	2,063 件	37 件	8,671 件

*その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

	福祉サービ スの利用等	障がいや 病状の理解	健康・医 療	不安の解消 ・情緒安定	保育・教育	家族関係・ 人間関係	家計・経済
延件数	1,919 件 (1,918)	419 件 (419)	271 件 (271)	3,172 件 (3,170)	67 件 (67)	209 件 (209)	704 件 (704)

	生活技術	就 労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他	合計
延件数	708 件 (708)	409 件 (409)	31 件 (31)	174 件 (174)	588 件 (584)	8,671 件 (8,664)

* () 内は解決に至った件数。

ウ. 松山市発達障がい者就労支援研修の開催

発達障がい者支援（就労）と理解促進のための啓発を目的として、市民を対象に研修会を開催した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 28 年 2 月 20 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
参加者数	330 名（企業、福祉施設、事業所、医療、教育関係者、福祉関係者等）
内 容	演題 「夢は普通になることです」 講師 アズ直子氏（有限会社アズ代表取締役）

エ. 松山市障がい者虐待防止研修の開催

虐待防止についての理解促進を目的として、松山市内障がい者福祉サービス事業所職員を対象に研修を開催した。

項 目	内 容 等
開 催 日	26 回（平成 27 年 7 月 16 日 ～ 平成 28 年 3 月 16 日）
会 場	松山市内 8 箇所の障がい者支援施設及び市総合福祉センター
参加者数	439 名（358 事業所）
内 容	演題 「虐待はなぜおこるのか？虐待を防ぐためにできること、やるべきこと」 講師 中田 康晴氏（株式会社グッドコミュニケーション代表取締役） 米子 香苗氏（株式会社 Parati ときめき支援室長）

(3) 福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

ア. 契約件数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	6 件 〔 新規 0 件 〕 〔 終了 5 件 〕	23 件 〔 新規 0 件 〕 〔 終了 7 件 〕	47 件 〔 新規 0 件 〕 〔 終了 8 件 〕	8 件 〔 新規 0 件 〕 〔 終了 1 件 〕	84 件 〔 新規 0 件 〕 〔 終了 21 件 〕

*〔 〕 は、平成 27 年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
17 名	1, 875 回	1, 844 時間

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

①生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、愛媛県社協に対し資金貸付申請の進達を行った。

申請内容	相談件数	申請件数
(1)総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	45 件	0 件 2 件 1 件
(2)福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	670 件	7 件 19 件
(3)教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	59 件	2 件
(4)不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	40 件	2 件 5 件
(5)その他(償還猶予申請等)	13 件	13 件
合 計	827 件	51 件

②臨時特例つなぎ資金貸付事業

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者が給付金又は貸付金の交付を受けるまでの間、安定した生活を送ることができるよう当面の生活費の貸付について愛媛県社協と連携し、必要な援助指導を行った。

相談内容	相談件数	貸付件数
臨時特例つなぎ資金	458 件	0 件

【公益事業会計】

1 松山市総合福祉センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用人数	備 考	
8,228 団体	213,233 名	施設見学 有料利用	2 団体 26 名 9 件 755 名

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

行事名	開催日	参加者	内 容
まつやま優秀映画鑑賞 推進事業 (懐かしの名画劇場 2015)	平成 27 年 12 月 6 日	1,100 名	① 戦争と平和 ② 安城家の舞踏会 ③ 蜂の巣の子供たち ④ 帰郷
地域福祉活動推進 講演会 *ボランティア活動推進 講演会と合同で開催	平成 28 年 2 月 3 日	350 名	演題 「地域包括ケアの実践と展望」 講師 大橋 謙策氏 (日本社会事業大学元学長)
手話に関する講演会	平成 28 年 3 月 6 日	200 名	演題 「手話パフォーマンス」 講師 坊っちゃん劇場 金子みすず等の手話ダンス

ウ. キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業

ひとり親家庭や共働き家庭等であって、夏休み・冬休みの期間中、子どもだけで過ごす環境にある小学生を対象に、学習支援や異学年との交流、体験学習等を通じて、子どもの居場所づくりや保護者の不安・悩み解消の場づくりに努めた。

項 目	内 容 等	
開催回数	7 回 (平成 27 年 7 月 24 日 ～ 平成 28 年 1 月 4 日)	
開催時間	9 : 00 ～ 17 : 00 (8 : 00 から受入、18 : 00 まで預り)	
会 場	市総合福祉センター外	
参加者数	児童 22 名、専任スタッフ 2 名、ボランティアスタッフ 39 名	
カリキュラム	○マイボックスづくり ○愛大ミュージアムに行こう！ ○ゴミについてかんがえよう！ ○書き初めに挑戦！ ○陶芸に挑戦！ ○英語を楽しくまなぼう！ ○手話を楽しくまなぼう！ ○おとしよりと交流しよう 等	

エ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2015」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	平成 27 年 11 月 14 日	平成 27 年 11 月 15 日
内 容	○ボランティア団体発表会 ○子ども発表会 ○認知症に関する講演会 ○余剰品販売コーナー ○ミニ四駆作製教室 ○お茶席 ○ペタンク体験 等	○ミニ四駆走行会・レース ○子どもゲームコーナー ○マッサージコーナー ○ストラップ作製 ○車いす体験 ○要約筆記体験 ○お楽しみ抽選会 等
	○障がい・権利擁護相談 ○食べ物・販売・お食事コーナー ○要約筆記・手話体験 ○スタンプラリー	○障がい者団体バザー ○サロン事業作品展示 ○朗読・点字を学ぼう ○各種団体による展示コーナー 等
来館者数	延 3,500 名	
広 告	50 団体・企業（広告収入：300,000 円）	
参加団体	62 団体（ボランティア・福祉団体等）	

オ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進を図った。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合計
保 管 数	2,388 冊	186 冊	1,503 本	282 本	138 本	4,497 本
貸出件数	24 件	0 件	125 件	3 件	28 件	180 件

カ. ロビー展等

市総合福祉センターの活性化と福祉に対する理解者の拡大を図るため、ロビー等の有効活用を行った。

実 施 内 容		実 施 期 間 等
ロビー展等	ア. わかくさふれあい市	毎週水曜日開催 ハートフルプラザ松山 (平成 23 年 4 月 6 日より開催)
	イ. 日本赤十字社献血車による献血	平成 27 年 6 月 9 日、12 月 8 日
	ウ. 赤い羽根共同募金パネル展	平成 27 年 10 月 1 日 ～ 12 月 31 日
	エ. サロン作品展	平成 27 年 11 月 14 日 ～ 24 日
	オ. しげのぶ特別支援学校作品展	平成 27 年 11 月 27 日 ～ 12 月 7 日
	カ. 災害ボランティアに関するパネル展	平成 28 年 1 月 28 日 ～ 2 月 18 日
	キ. みなら特別支援学校作品展	平成 28 年 2 月 19 日 ～ 3 月 4 日

募 金 箱 の 設 置	ア. 東日本大震災に伴う義援金募金箱設置	平成 27 年 4 月 1 日 ～ (平成 23 年 3 月 13 日設置)
	イ. 日赤社資募集募金箱設置	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 27 年 3 月 31 日
	ウ. 台湾地震救援金災害義援金募金箱設置	平成 28 年 2 月 8 日 ～ 3 月 15 日
	エ. 共同募金募金箱設置	平成 27 年 10 月 1 日 ～ 12 月 31 日
	(チャリティ JAZZ コンサート)	2 回 (平成 27 年 4 月 3 日・6 月 28 日)
	(赤い羽根チャリティコンサート)	1 回 (10 月 3 日)
そ の 他	ア. ご意見箱の常設 (1 階・4 階・5 階)	平成 27 年 4 月 1 日 ～ (平成 19 年 8 月 1 日設置)
	イ. 東日本大震災支援バルマーク収集箱設置	平成 27 年 4 月 1 日 ～ (平成 23 年 9 月 1 日設置)

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため、福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの維持・管理を行った。(平成 28 年 3 月 31 日現在)

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
45 台	41,982 名	1,681 団体	1,421 社

(3) 番町福祉センター管理事業

【市補助事業】

高齢者や福祉関係者等の社会参加や福祉活動の推進を図るため、活動の場として会場を提供した。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用者数
386 団体	5,641 名

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用者数
588 団体	12,255 名

イ. 講座等の開催

行事名	開催日	延参加者数	内容
北条文化の森 いきいき講座事業	6 回 (平成 28 年 1 月 29 日 ～ 2 月 29 日)	113 名	目的 地域住民の健康と仲間づくり 内容 指ヨガ、木工細工、心の健康とアロマセラピー、スクラップ・ブックキング等
松山健康づくり 体操教室事業	40 回 (平成 27 年 4 月 15 日 ～ 平成 28 年 3 月 9 日)	1,110 名	目的 運動機能の維持向上、介護予防 内容 マットやボール等を使った体操、血圧測定、体力測定等

(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び異世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に寄与した。

ア. 地域交流事業

項 目	友遊しみず	交流授業
対 象	介護保険対象外の概ね 65 歳以上の方	清水小学校児童
開催回数	90 回 (毎週月・木曜日 10:00 ~ 15:00)	58 回
延利用者数	1,152 名 (1 回あたり 12.8 名)	4,685 名 (清水小児童・教職員・大学生等)

イ. 講座等の開催

行 事 名	開 催 日	延参加者数	内 容
シニアライフ講座	8 回 (平成 27 年 5 月 20 日 ～ 7 月 8 日)	144 名	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度と高齢者の福祉サービスについて ・高齢者施設と介護サービスについて ・高齢者に多い事故と応急処置と予防 ・認知症について等 8 テーマ
シニアサポート講座	9 回 (平成 27 年 10 月 14 日 ～ 12 月 9 日)	99 名	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人との付き合い方～認知症の介護～ ・笑いヨガで心も体も健康に！ ・介護をする家族のメンタルヘルス等 9 テーマ
シニア PC チャレンジ	15 回 (平成 27 年 10 月 23 日 ～平成 28 年 3 月 4 日)	129 名	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン操作についての基本知識 ・文書や年賀状等の作成 ・表計算、家計簿、住所録等の作成 ・インターネットの活用方法やメールの送受信等

ウ. 清水地区社協への協力 (主な協力事業)

項 目	延利用者数
清水地区社協業務・しみず祭等	1,650 名
地区社協会議等	706 名
ふれあい教室 (絵手紙・書道等 9 教室等)	3,581 名
合計	5,937 名

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週2回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消を図った。

実利用者数	延訪問回数	新規申請	安否確認件数
2,657名	260,223回	295名	404件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年4回の出張理容サービスを実施（県理容生活衛生共同組合松山・古町・北支部）し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減を図った。

利用券交付者数	延利用者数	新規申請
29名	63名	6名

③配食サービス事業

【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、利用者の心身の負担軽減及び安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者7社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上を図るため、1日1食（昼又は夕）の食事サービスを提供した。

実利用者数	延配食数	新規申請
949名	143,109食	275名

④福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている64歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上を図るため、レンタル方式により福祉機器を貸出（レンタル業者9社）した。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
8件	4件	7件

*平成27年度は新規申請なし

⑤バリアフリーマップ改訂版作成事業

【市補助事業：新規事業】

平成 22 年度に改訂・作成したマップの掲載情報やシステム等を改訂し、操作性・視認性の向上を図ることで、障がい者や高齢者の外出支援の促進及びバリアフリーの周知・啓発を促進するとともに、観光客や観光ボランティア等すべての方が利用しやすいマップを作成した。

項 目	内 容 等
調査件数	847 件
調査内容	バリアフリー対応状況調査 〔駐車場〕 車いす利用者用駐車場など 〔出入口〕 段差、スロープ、入口（自動ドア）構造など 〔通路〕 点字誘導ブロック、通路の幅など 〔トイレ〕 車いす利用者用トイレ、温水洗浄便座、オストメイト、ベビーシートなど 〔その他〕 授乳室、手話対応、AED など
参加ボランティア数	27 名
リーフレット版（ミウラ折り）	12,000 部
ウェブサイト （スマートフォン対応）	ウェブサイト（ http://m.hecoman.com ）のリニューアル

⑥中高年結婚相談支援モデル事業

【自主事業】

独身の中高年を対象として、将来にわたって安定した温もりのある家庭づくりに寄与するとともに、社会的費用の軽減や地域社会における「セイフティネットワーク」の構築を図るために、結婚相談支援事業を実施した。

ア. 登録状況等

（平成 28 年 3 月 31 日現在）

登録者数	相談件数	マッチング （お見合い）件数	交際成立数
117 名（男 61 名、女 56 名） * 延登録者数：142 名	73 件	11 件	3 組

イ. 諸会議等の開催

会 議 等	内 容 等
結婚コーディネーター情報交換会	12 回（平成 27 年 4 月 16 日 ～ 平成 28 年 3 月 17 日）
松山市社会福祉協議会 de 愛イベント Vol. 2 ～中高年世代の婚活を応援します～	日 時 平成 27 年 9 月 6 日 13:00 ～ 16:00 会 場 市総合福祉センター 5 階 中会議室 内 容 えひめ結婚支援センターと連携し、40 歳以上の結婚希望者に対し、ビンゴゲームやプロフィールトーク、フリートーク等を実施。 参加者数 19 名（交際成立数：3 組）
松山市社会福祉協議会 de 愛イベント Vol. 3 ～中高年世代の婚活を応援します～	日 時 平成 28 年 2 月 13 日 13:00 ～ 16:00 会 場 市総合福祉センター 5 階 中会議室 内 容 えひめ結婚支援センターと連携し、45 歳以上の結婚希望者に対し、相性チェックゲームやプロフィールトーク、フリートーク等を実施。 参加者数 31 名（交際成立数：3 組）

(2) 介護予防促進事業

① 離島介護サービス対策事業

【市受託事業】

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援を行った。

開催場所	回数	延利用者数	平均利用者数	実施内容
釣島	8回	112名	14.0名	(1) 介護サービス相談 (2) 介護予防レクリエーション (3) 健康相談・介護相談 (4) 健康体操 (5) 健康等に関する講話 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	8回	38名	4.8名	

② ふれあい・いきいきサロン運営事業

【市受託事業】

地域で生活している高齢者等と地域のボランティア等が気軽に集まり、地域の介護予防の拠点として、世代間交流などのサロン活動を通して心身機能の維持向上を図ることを目指しサロン事業を実施した。また、平成 27 年度については、サロンの介護予防メニューの開発及び効果測定方法を検討するため、介護予防推進チームを設置した。

ア. 登録者状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	登録数	備考 (内訳)	
利用者 (60 歳以上)	8,323 名	60 - 64 歳	267 名
		65 - 69 歳	1,149 名
		70 - 74 歳	2,062 名
		75 - 79 歳	2,118 名
		80 - 84 歳	2,022 名
		85 歳以上	705 名
活動援助員	1,888 名		
講師	646 名		

イ. 活動状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

サロン数	開催回数	延利用者数	平均利用者数
250 サロン	6,509 回	105,103 名	16.1 名

ウ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 250 サロン
調査期間	平成 27 年 4 月 1 日 ~ 11 月 30 日

エ. サロン登録講師指導体験会の開催

項目	内容等
開催回数	20回（平成27年11月4日～平成28年3月30日）
会場	市総合福祉センター、北条社会福祉センター 外
延参加者数	482名（サロン代表者、活動援助員等）
内容	○転倒予防&姿勢改善エクササイズ ○からくりカレンダー ○アイロンプリント ○高齢者のメイクアップ&パーソナルカラー ○クラフトテープでかぶと作り ○ニュースポーツ体験 等

オ. 各サロン（地区）諸会議等の開催

・諸会議等の開催

項目	地区数	回数
サロン代表者会	6地区	42回
活動援助員研修会	8地区	12回
サロン活動紹介・情報交換会	4地区	4回
他団体との情報交換会	74団体	129回

・出前健康講座（松山市保健所と協働し、健康についての講座を実施）

テーマ	サロン数	参加者数
高齢者向けの運動	8サロン	163名
高齢者の健康づくり	7サロン	145名
健康・長寿の秘訣は毎日の食事にある	5サロン	77名
計	20サロン	385名

カ. 松山市ふれあい・いきいきサロン介護予防推進チーム会議の開催

開催日 / 会場	内容	参加者
平成27年5月14日 聖カタリナ大学	・介護予防モデルメニューについて ・介護予防強化促進モデル事業の実施について	7名 （学識経験者、地区社協、サロン、市担当課、市社協）
平成27年6月24日 聖カタリナ大学	・介護予防メニューの開発・実施方法 ・介護予防ボランティア養成講座について	5名 （学識経験者、地区社協、サロン、市担当課、市社協）
平成27年12月1日 聖カタリナ大学	・介護予防ボランティア養成講座について ・実施報告 ・モデルサロンでの効果検証について	10名 （学識経験者、地区社協、サロン、市担当課、市社協）
平成28年3月22日 聖カタリナ大学	・介護予防強化促進モデル事業分析結果の報告 ・介護予防強化促進モデル事業分析結果 ・元気高齢者介護予防等についての意識調査について ・分析結果	10名 （学識経験者、地区社協、サロン、市担当課、市社協）

キ. 介護予防強化促進モデル事業

ふれあい・いきいきサロン事業における介護予防効果について検証するため、サロン事業を実施している地区を対象に介護予防についての知識と技術の習得を目的とした講座を実施した。

・介護予防ボランティア養成講座の開催

開催日 / 会場	内容	参加者
平成 27 年 7 月 22 日 市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防とは ・運動機能の向上 ・絵本のちから 	141 名
平成 27 年 7 月 23 日 北条社会福祉センター		45 名
平成 27 年 7 月 27 日 市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能の向上 ・脳活について ・レク式体力チェック 	144 名
平成 27 年 8 月 4 日 北条社会福祉センター		47 名
平成 27 年 8 月 7 日 市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防とは ・運動機能の向上 ・絵本のちから ・口腔機能の向上 ・脳活について ・レク式体力チェック 	98 名

・モデルサロン

実施サロン数	19 サロン
実施期間	平成 27 年 9 月 ～ 12 月

ク. サロン農園事業

地元農家の協力を得て、遊休農地等の活用と男性利用者の拡大を図るため、サロン農園を実施した。

実施サロン数	12 サロン
--------	--------

ケ. 広報啓発等

啓発方法	啓発内容等	
「松山市ふれあい・いきいきサロン通信」の発行	発行回数	12 回
	発行部数	400 部（サロン関係者等への送付）
ふれあい・いきいきサロン実践事例集 web サイト版の運営	250 サロンやサロン農園の活動状況及び「サロン通信」を掲載	
サロン作品展	作品展	「若草福祉まつり 2015」 期間 平成 27 年 11 月 14 日・15 日 会場 市総合福祉センター 3 階
		期間 平成 27 年 11 月 16 日 ～ 25 日 会場 市総合福祉センター 1 階 ロビー
	ロビー展	期間 平成 27 年 11 月 26 日 ～ 12 月 2 日 会場 いよてつ高島屋ふれあいギャラリー
		期間 平成 27 年 12 月 3 日 ～ 17 日 会場 北条社会福祉センター 1 階 ロビー

コ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	71 種類 103 個	241 件
プロジェクター・DVD 等	33 タイトル 94 枚	85 件

サ. 絵本を通じた世代間交流の開催

地区	日時・会場	参加者数
雄郡	7 回 平成 27 年 5 月 25 日～ 平成 28 年 3 月 16 日 双葉小学校、ゆめのもり保育園 雄郡小学校、土居田集会所	高齢者 207 名 子育てサロン（未就園児） 41 名 小学生 459 名
垣生	2 回 平成 27 年 6 月 5 日・11 月 26 日 垣生保育園	高齢者 46 名 子育てサロン（未就園児） 79 名
味生	5 回 平成 27 年 6 月 25 日～ 平成 28 年 2 月 4 日 西側集会所、南斎院集会所	高齢者 84 名 子育てサロン（未就園児） 80 名 小学生 15 名
八坂	2 回 平成 27 年 7 月 23 日・ 平成 28 年 2 月 10 日 八雲保育園	高齢者 18 名 子育てサロン（未就園児） 40 名
余土	2 回 平成 27 年 8 月 5 日・7 日 市坪公民館、さくら児童クラブ	高齢者 34 名 小学生 53 名
清水	1 回 平成 27 年 8 月 29 日 しいのみ集会所	高齢者 16 名 小学生 37 名
石井東	2 回 平成 27 年 9 月 18 日・10 月 27 日 星岡集会所、愛媛幼稚園	高齢者 32 名 子育てサロン（未就園児） 158 名
計	21 回	1,399 名 (高齢者 437 名・小学生 564 名・園児等 398 名等)

③松山健康づくり体操教室事業（若草）

【自主事業】

高齢者を対象に、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続を目指し、体操教室を実施した。平成 27 年度においては、午後の部を追加実施することにより多くの応募者への対応を図った。

項目	内容等
実施回数	140 回（前期：60 回・後期：80 回）
実施期間	平成 27 年 5 月 11 日～平成 28 年 3 月 24 日 （前期：平成 27 年 5 月 11 日～平成 27 年 9 月 18 日） （後期：平成 27 年 10 月 13 日～平成 28 年 3 月 24 日）
会場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
延参加者数	6,415 名（前期：2,718 名・後期：3,697 名）

④まつやまシニアカレッジ事業

【自主事業】

大学との協働により高齢者向けの講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの実体験を通じて、介護予防の意識付けや知識の習得、相互交流を図った。

項 目	内 容 等	
開催回数等	10回（平成27年5月15日～11月6日） プレ講義（自己紹介・事業説明等） 大学祭（余剰品バザーコーナー参加） 校外学習・交流会（双海町）	平成27年5月8日 平成27年10月24日 平成27年11月13日
会場・共催	聖カタリナ大学	
延参加者数	445名	

(3) 聴覚総合支援事業

①手話生活相談事業

【市受託・指定管理事業】

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を取りながら総合的支援を行った。

ア. 相談対応件数

	来所	電話・Fax	電子メール	関係機関	合計
延件数	2,396件	3,102件	1,336件	391件	7,225件

イ. 支援内容

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延件数	318件 (318)	9件 (9)	425件 (425)	125件 (125)	11件 (11)	157件 (157)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延件数	68件 (68)	269件 (269)	133件 (133)	296件 (296)	14件 (14)	843件 (843)

	登録通訳者	啓発活動	講演会等へ通訳を紹介	その他	合計
延件数	1,628件 (1,628)	473件 (473)	1,027件 (1,027)	1,429件 (1,429)	7,225件 (7,225)

* () 内は解決に至った件数。

②手話通訳者設置事業

【市受託・指定管理事業】

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意味疎通の支援を行った。

	身体障害者手帳等	補装具等	日常生活用具等	障害福祉サービス	介護保険	生活保護	医療保険	年金手当	就労	教育	住居	税	窓口手続証明等	窓口手続証明以外等	相談	その他	合計
件数	46件	22件	43件	52件	16件	17件	130件	82件	22件	0件	35件	46件	44件	191件	26件	302件	1,074件

③意思疎通支援事業

【市受託・指定管理事業】

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者、要約筆記者を派遣した。

ア.登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

	個人に対する派遣										大会等派遣	合計
	介護保険	医療	公的機関	学校	大会行事	研修・講座	障害者総合支援法	冠婚葬祭	その他	小計		
件数	1,868件	3,217件	135件	88件	44件	14件	132件	51件	402件	5,951件	53件	6,004件

イ.登録手話通訳者・要約筆記者研修会の開催

項目	内容等
開催回数	12回（平成27年4月13日～平成28年3月14日）
会場	市総合福祉センター
テーマ	「地域福祉の基礎」、「医療場面模擬通訳」、「医療場面模擬通訳の振り返り」、「携帯電話の携帯」、「講演通訳実習」等9テーマ
延参加者数	474名

ウ.登録通訳者の健康診断の実施

頸肩腕障害を予防することを目的として、登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施した。

項目	内容等
期日	平成28年2月4日～25日
受診者数	25名（手話通訳13名、要約筆記者4名、手話・要約筆記者8名）

④意思疎通支援者養成事業

【市受託・指定管理事業】

ア.養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導を行い、手話通訳者、要約筆記者を養成するため、各種講座を開催した。

講座名	実施回数	修了者数
手話通訳者養成講座		
基礎フォローアップ講座	午前 40 回 ・ 夜間 40 回	午前 12 名 ・ 夜間 22 名
手話通訳 I	午前 39 回 ・ 夜間 39 回	午前 16 名 ・ 夜間 13 名
手話通訳 II	午前 36 回 ・ 夜間 36 回	午前 8 名 ・ 夜間 13 名
医療・介護従事者向け手話講座	40 回	13 名
要約筆記者養成講座	午前 44 回 ・ 夜間 44 回	午前 15 名 ・ 夜間 10 名

イ.全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより、登録通訳者の確保を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 28 年 2 月 21 日
会 場	市総合福祉センター
受験者数	16 名（内合格者 3 名）

⑤聴覚障害者等生活訓練事業

【市受託・指定管理事業】

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域における生活能力を高め、社会参加の促進を図った。

行 事 名	開 催 日	延利用者数	内 容
生活支援訪問	36 回 (平成 27 年 4 月 10 日 ~ 平成 28 年 3 月 16 日)	152 名	制度の情報提供や生活支援 ・ 癌入院 ・ 介護認定 ・ 境界線トラブル 等
中途失聴者・ 難聴者の手話 講座	昼の部 40 回 夜の部 40 回 (平成 27 年 4 月 21 日 ~ 平成 28 年 3 月 29 日)	795 名	手話学習と仲間づくり ・ 暮らしに関する手話 ・ 冠婚葬祭に関する手話 等
暮らし セミナー	12 回 (平成 27 年 4 月 20 日 ~ 平成 28 年 3 月 7 日)	277 名	暮らしをテーマとしたセミナー ・ 脳梗塞の予防 ・ 相続税について ・ お遍路と歴史について ・ 詐欺にあわないために ・ 骨を丈夫にする食事 等

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、委託先（行政）へ提出した。

調査内容	依頼件数	実施件数	完了件数
①要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	29,403 件	28,614 件	28,494 件
②生活保護受給者身体状況訪問調査事業 【市受託事業】	242 件	235 件	235 件
③住所地特例認定訪問調査事業 【他市町村等受託事業】	809 件	735 件	735 件
④障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,529 件	1,447 件	1,420 件

* 依頼・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となること等から発生

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護職員のスキルアップ研修やグループホーム等の地域密着型サービス事業者への訪問による情報提供・助言等を行うことで、サービスの質の確保と向上、高齢者の虐待防止、適正な介護報酬請求等の理解を促進し、効率的・効果的な介護サービスの提供及び質の向上を図った。

ア. グループホーム等の処遇調査（高齢者虐待防止、身体拘束ゼロに向けて）、訪問、運営推進会議への参加等

対象施設	設置数	訪問施設数	延訪問回数
グループホーム	114 ヶ所	114 施設	132 回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2 施設	2 施設	2 回
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	10 施設	10 施設	15 回
小規模多機能型居宅介護事業者	52 施設	52 施設	61 回
看護小規模多機能型居宅介護	3 施設	3 施設	4 回
認知症対応型通所介護事業者	19 ヶ所	19 施設	26 回
夜間対応型訪問介護	1 ヶ所	1 施設	0 回
合 計	201 ヶ所	201 施設	241 回

イ. 集団・テーマ別研修の開催

研修名	開催日	延参加者数	内 容
集団研修	6 回 (平成 27 年 7 月 10 日～ 平成 28 年 1 月 15 日)	287 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアのための研修 ・ 介護職員スキルアップ研修 ・ ケアプラン研修 ・ 介護職員技術研修

②ケアプラン評価等事業

【市受託事業】

ケアプラン検討会において事業者等のケアプランを検証することにより、介護保険制度の要である介護支援専門員のケアマネジメント能力の向上及び居宅サービス計画の質的向上に努めた。

項目	内容等
開催回数	12回
検討委員	4名
評価対象 ケース	24 ケース 内訳 居宅介護支援事業所 24 ケース *社協において対象事業所を選択
主な検証 内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアセスメントによる正確な生活状況の把握と記載方法 ・インフォーマルサービスも含めた個別性のある自立支援に向けたケアプラン作成 ・利用者の思いを反映した具体的な目標設定 ・病状悪化や疾病予防のための生活改善に向けた支援や医療との連携方法 ・利用者へのサービス事業所選択時における情報の提示や事業者への説明の徹底等

③介護相談員派遣事業

【市受託事業】

グループホーム等の地域密着型サービス事業提供施設に介護相談員を派遣し、利用者の視点に立った市民の立場でサービス利用者と事業者の円滑なコミュニケーションを促し、当事者の問題解決能力を高めることにより福祉・介護サービスの改善や向上を図った。

ア. 実施状況

受入グループホーム数	訪問回数	延相談員数	相談件数
6施設 (新規3ヶ所含む)	103回	226名	84件

イ. 介護相談員研修会への参加

会議名	開催日等	内容等
愛媛県現任介護相談員研修	初級 開催日：平成27年7月21日 会場：県総合社会福祉会館 参加者：相談員6名	<ul style="list-style-type: none"> ○行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 ○講義 「高齢者の心理と理解」「施設サービスの理解」 ○演習 「コミュニケーション技法とトレーニング」
	中級 開催日：平成27年9月14日 会場：県総合社会福祉会館 参加者：相談員7名	<ul style="list-style-type: none"> ○行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 ○講義 「認知症の正しい理解」 ○報告 「介護相談員活動事例報告」 ○演習・情報交換 「介護相談員活動における課題」

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業：新規事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施するとともに、必要な事業等につなぐことで、本人や家族等の権利を擁護する。また、各種研修会の開催や市民イベントでの相談ブースを設け啓発活動を実施することで、市内の各関係機関との連携により、松山市における相談・支援体制の強化を図り、地域生活を支える権利擁護支援体制の構築に努めた。

ア. 主な活動

成年後見利用支援業務	276 件
成年後見活動支援業務	72 件

イ. 専門職無料相談会の開催

項目	開催回数	相談件数
弁護士	10 回	26 件
司法書士	11 回	28 件

ウ. 普及・啓発活動

内容	延回数	延参加人数
イベント参加	24 回	1,599 名
研修会	4 回	134 名

エ. 成年後見市民セミナーの開催

開催日 / 会場	延参加者数	内容
平成 27 年 7 月 25 日 市総合福祉センター	93 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 「成年後見制度の現状について」 講師 澤田佳幸氏（松山家庭裁判所 主席書記官） ・ 講義 「成年後見の実践について」 講師 菅野慎二氏（県社会福祉社会福祉士会 社会福祉士） ・ 講義 「成年後見制度が地域福祉にもたらす効果」 講師 泉川孝三氏（成年後見センター・リーガルサポートえひめ 司法書士）

(2) 法人成年後見事業

【自主事業】

認知症等によって判断能力が不十分な方を対象に、権利擁護及び生活の質の向上を図るため、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）を受任し、財産管理や身上監護を行った。

ア. 受任件数

	被後見人数				合 計
	市長	親族	本人	職権	
後 見	14 件 〔 新規 2 件 終了 1 件 〕	3 件	1 件	1 件	19 件 〔 新規 2 件 終了 1 件 〕
保 佐	—	—	1 件	—	1 件
補 助	—	—	—	—	0 件
合 計	14 件 〔 新規 2 件 終了 1 件 〕	3 件	2 件	1 件	20 件 〔 新規 2 件 終了 1 件 〕

* () は、平成 28 年度新規受任及び終了件数

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間
6 名	134 回	300.5 時間

(3) 市民後見推進事業

【市受託事業】

住民参加による市民後見活動を推進することにより、認知症高齢者や障がい者の権利擁護に寄与するとことを目的に、市民後見人の養成を行った。

ア. 講座等の開催

講座名	開催日 / 会場	参加者数	内 容
法人成年後見事業支援員等フォローアップ研修会	平成 27 年 10 月 2 日 市総合福祉センター	5 名	演題 「成年後見制度に必要な民法等の法的知識について」 講師 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートえひめ
	平成 28 年 3 月 16 日 市総合福祉センター	6 名	演題 「後見人の倫理」 事例検討「本人の意思の尊重と身上配慮義務」・「親族との関係」・「被後見人の死後の事務手続き」等 講師 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートえひめ
市民後見人養成講座 (基礎 / 実務編)	7 日間 (平成 27 年 12 月 3 日 ~ 平成 28 年 2 月 25 日) 市総合福祉センター 市内福祉施設等	14 名	「高齢者、障がい者の権利擁護」外 22 テーマ 体験実習 (高齢者、知的障がい者、精神障がい者)

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会事業

【市受託事業】

多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進を図るため開催した。

項 目	内 容 等
大会名	平成 27 年度 松山市福祉大会
開催日	平成 27 年 9 月 3 日
会 場	松山市民会館 大ホール
参加者数	約 1,800 名（福祉関係者）
内 容	○表 彰 138 名・41 団体 ○講 演 演題：いのち輝け ～トーク&ライブ～ 講師：坊っちゃん劇場

②福祉定期講座事業

【市受託・指定管理事業】

福祉意識の高揚、障がい者への理解、ボランティア活動への参加促進を図るため、福祉活動に興味を持つ市民に対し、福祉啓発の一環として各種福祉講座を開催した。

講座名	実施回数	修了者数
点 字	初級 20 回 ・ 中級 20 回	初級 9 名 ・ 中級 8 名
手 話（午前）	入門 18 回 ・ 基礎 22 回	入門 26 名 ・ 基礎 18 名
手 話（夜）	入門 18 回 ・ 基礎 22 回	入門 31 名 ・ 基礎 23 名
朗 読	初級 12 回 ・ 中級 13 回	初級 10 名 ・ 中級 10 名

